

2020年度 グローバル教育センター 講義概要 (シラバス)



法政大学

科目一覧

[発行日：2020/5/1] 最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

短期語学研修（英語）【A8900】 春季短期語学研修（英語）[熊田 泰章] スプリングセッション	1
国際インターンシップ【A8904】 春季国際インターンシップ [熊田 泰章] スプリングセッション	2
短期語学研修（フランス語）【A8901】 春季短期語学研修（フランス語）[熊田 泰章] スプリングセッション	3
国際ボランティア【A8905】 春季国際ボランティア [熊田 泰章] スプリングセッション	4
短期語学研修（中国語）【A8902】 春季短期語学研修（中国語）[熊田 泰章] スプリングセッション	5
国際インターンシップ【A8911】 夏季国際インターンシップ [熊田 泰章] サマーセッション	6
短期語学研修（朝鮮語）【A8903】 春季短期語学研修（朝鮮語）[熊田 泰章] スプリングセッション	7
国際ボランティア【A8912】 夏季国際ボランティア [熊田 泰章] サマーセッション	8
短期語学研修（英語）【A8906】 夏季短期語学研修（英語）[熊田 泰章] サマーセッション	9
短期語学研修（ドイツ語）【A8907】 夏季短期語学研修（ドイツ語）[熊田 泰章] サマーセッション	10
短期語学研修（フランス語）【A8908】 夏季短期語学研修（フランス語）[熊田 泰章] サマーセッション	11
短期語学研修（中国語）【A8909】 夏季短期語学研修（中国語）[熊田 泰章] サマーセッション	12
短期語学研修（朝鮮語）【A8910】 夏季短期語学研修（朝鮮語）[熊田 泰章] サマーセッション	13

OTR900LF

春季短期語学研修（英語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(English)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、英語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、プレイスメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。

4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend English intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

春季国際インターンシップ

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：1 単位

科目名（英語）：International Internship (Spring)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、国外の民間企業、NGO 団体に赴任し、2 週間から 4 週間程度の実務に関わる現場研修を行う。この経験を通じて、これまでの学習で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なかを考える能力を身に付けることを目的とする。

【到達目標】

国際ビジネスの現場に身を置き、国際ビジネスの分野、構造、意義、課題を体得し、国際ビジネスに対する理解を深めるとともに、実践的な課題解決力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際インターンシップへの参加に先立ち、実践的な英語力の向上に努めること、社会人としてのマナーやオフィスでのビジネスマナーについて学ぶこと、派遣国の文化、歴史、宗教、習慣、経済状態等について理解を深めること。あわせて、派遣先・職種の設定後、各自、課題設定・事前調査を行う。出発前の危機管理説明会において、活動報告書の書き方と海外で身の安全を守る術を学んだうえで、プログラムに参加する。プログラム実施期間中、現地では最低 10 日間以上の期間、60 時間以上の学修時間を伴う活動を行う。プログラム参加後は、活動報告書の作成、および振り返りセミナーを通し、他の参加者と一緒に学んだことを振り返ることで、さらなる相互の気づきにつなげる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	課題設定・事前調査	課題設定、及び活動国（地域）の特徴、受け入れ先の企業（団体）、職種・業務内容について事前に調査したことを項目立てて整理し、活動報告書にまとめる。
第 2 回	危機管理説明会	活動報告書の書き方指導、海外危機管理情報の提供、その他参加にあたっての諸注意事項等。
第 3～12 回	プログラムへの参加	各自、派遣先に赴任し、英語を共通言語とする国際ビジネスの現場で実務研修を行う（最低 10 日間以上、60 時間以上の学修時間を伴う活動）。
第 13 回	活動報告書の作成・提出	派遣先での経験や学びを振り返り、活動報告書にまとめて、提出する。
第 14 回	振り返りセミナー	学んだことを他の参加者と一緒に振り返ることで、今後の学びにつなげる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

それぞれの活動にあたり、10 時間以上の準備、5 時間以上の復習が必要である。出発前、プログラムを通じた課題を設定すると同時に、活動国（地域）の特徴、受け入れ先の企業（団体）、職種・業務内容について事前に調査したことを項目立てて整理する。活動中は日々の活動内容を項目ごとにまとめること。プログラム終了後は、設定課題の達成状況（成果）、今後の課題とその具体的な克服方法（計画）、活動を通じて得られた、興味・関心についての事後調査・研究内容を整理し、活動報告書にまとめて提出し、国際学生活動支援プロジェクト担当教員の指導を受ける。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

国際学生活動支援プロジェクトにおいて、派遣先から発行される修了証、活動報告書の内容、振り返りセミナーへの参加等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

ノート型パソコン

【その他の重要事項】

研修開始前および終了後、開催地（国）以外に立寄ることは認めない。

【Outline and objectives】

During the spring vacations, selected student interns are dispatched for periods of two to four weeks to work outside of Japan. These interns work in foreign-based NPOs, NGOs, and companies on various projects to acquire first-hand practical experience and on-the-job training (OJT). The aim of this internship program is twofold. The first is to give students the opportunity to reflect on (think about) and utilize the knowledge they have gained through classroom study of international societies while experiencing working life outside of Japan directly. The second is to have students acquire the ability to consider more deeply what the future of work could mean in a world where multicultural workplaces are becoming more common.

OTR900LF

春季短期語学研修（フランス語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(French)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、フランス語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週 20～25 時間、2 週間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレイスメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第 2 回	第 2 回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第 3～14 回	語学研修への参加	各自、研修先にて週 20～25 時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計 40 時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した 4 年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。

4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend French intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

春季国際ボランティア

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：1 単位

科目名（英語）：International Volunteer (Spring)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、本学の協定校でベトナム最大の IT 企業である「FPT Corporation」が人材育成のために設立した FPT 大学と、ブルネイ・ダルサラーム大学（UBD: University of Brunei Darussalam）が共同で設立した「English Language Center」にて、ブルネイの留学生と共に、約 3 週間の英語教育支援活動を行う。併せて、孤児院への訪問及びワークショップの企画・運営を行う。この経験を通じて、これまでの学修で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なかを考える能力を身に付けることを目的とする。

【到達目標】

国際ボランティアの現場に身を置き、プログラムの構造、意義、課題を体得し、国際ボランティアに対する理解を深めるとともに、実践的な課題解決力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際ボランティアへの参加に先立ち、実践的な英語力の向上に努めること、ベトナムの文化、歴史、宗教、習慣、経済状態等について理解を深めること。あわせて、各自、課題設定・事前調査を行う。出発前の危機管理説明会において、活動報告書の書き方と海外で身の安全を守る術を学んだうえで、プログラムに参加する。プログラム実施期間中、現地では最低 10 日間以上の期間、60 時間以上の学修時間を伴う活動を行う。プログラム参加後は、活動報告書の作成、および振り返りセミナーを通し、他の参加者と一緒に学んだことを振り返ることで、さらなる相互の気づきにつなげる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	課題設定・事前調査	課題設定、及び活動国（地域）の特徴、受け入れ先の団体、活動内容について事前に調査したことを項目立てて整理し、活動報告書にまとめる。
第 2 回	危機管理説明会	活動報告書の書き方指導、海外危機管理情報の提供、その他参加にあたっての諸注意事項等。
第 3～12 回	プログラムへの参加	各自、派遣先に赴任し、英語を共通言語とする国際ボランティアの現場で教育支援活動を行う（最低 10 日間以上、60 時間以上の学修時間を伴う活動）。
第 13 回	活動報告書の作成・提出	派遣先での経験や学びを振り返り、活動報告書にまとめて、提出する。
第 14 回	振り返りセミナー	学んだことを他の参加者と一緒に振り返ることで、今後の学びにつなげる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

それぞれの活動にあたり、10 時間以上の準備、5 時間以上の復習が必要である。出発前、プログラムを通じた課題を設定すると同時に、活動国（地域）の特徴、受け入れ先の団体、活動内容について事前に調査したことを項目立てて整理する。活動中は日々の活動内容を日誌としてまとめること。プログラム終了後は、目的の達成状況、活動を通じて得られた興味・関心についての事後調査・研究内容を整理し、活動報告書にまとめて提出し、国際学生活動支援プロジェクト担当教員の指導を受ける。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

国際学生活動支援プロジェクトにおいて、派遣先から発行される修了証、活動報告書の内容、振り返りセミナーへの参加等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

ノート型パソコン

【その他の重要事項】

研修開始前および終了後、開催地（国）以外に立寄ることは認めない。

【Outline and objectives】

During the spring vacations, selected student volunteers are dispatched for periods of three weeks to the “English Language Center” which was established by the University of Brunei Darussalam and FPT University. FPT University is our partner university established with the aim of cultivation of human resources by FPT Corporation, the largest IT company in Vietnam. The aim of this fieldwork volunteer program is twofold. The first is to give students the opportunity to reflect on (think about) and utilize the knowledge they have gained through classroom study of international societies while experiencing life outside of Japan. The second is to have students acquire the ability to consider more deeply what is necessary for people around the world to have for a better future.

OTR900LF

春季短期語学研修（中国語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(Chinese)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、中国語圏の本国協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、プレテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。

4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend Chinese intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季国際インターンシップ

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：1 単位
科目名（英語）：International Internship (Summer)
曜日・時限：集中・その他
備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、国外の民間企業、NGO 団体に赴任し、2 週間から 4 週間程度の実務に関わる現場研修を行う。この経験を通じて、これまでの学習で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なのかを考える能力を身に付けることを目的とする。

【到達目標】

国際ビジネスの現場に身を置き、国際ビジネスの分野、構造、意義、課題を体得し、国際ビジネスに対する理解を深めるとともに、実践的な課題解決力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際インターンシップへの参加に先立ち、実践的な英語力の向上に努めること、社会人としてのマナーやオフィスでのビジネスマナーについて学ぶこと、派遣国の文化、歴史、宗教、習慣、経済状態等について理解を深めること。あわせて、派遣先・職種の設定後、各自、課題設定・事前調査を行う。出発前の危機管理説明会において、活動報告書の書き方と海外で身の安全を守る術を学んだうえで、プログラムに参加する。プログラム実施期間中、現地では最低 10 日間以上の期間、60 時間以上の学修時間を伴う活動を行う。プログラム参加後は、活動報告書の作成、および振り返りセミナーを通し、他の参加者と一緒に学んだことを振り返ることで、さらなる相互の気づきにつなげる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	課題設定・事前調査	課題設定、及び活動国（地域）の特徴、受け入れ先の企業（団体）、職種・業務内容について事前に調査したことを項目立てて整理し、活動報告書にまとめる。
第 2 回	危機管理説明会	活動報告書の書き方指導、海外危機管理情報の提供、その他参加にあたっての諸注意事項等。
第 3～12 回	プログラムへの参加	各自、派遣先に赴任し、英語を共通言語とする国際ビジネスの現場で実務研修を行う（最低 10 日間以上、60 時間以上の学修時間を伴う活動）。
第 13 回	活動報告書の作成・提出	派遣先での経験や学びを振り返り、活動報告書にまとめて、提出する。
第 14 回	振り返りセミナー	学んだことを他の参加者と一緒に振り返ることで、今後の学びにつなげる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

それぞれの活動にあたり、10 時間以上の準備、5 時間以上の復習が必要である。出発前、プログラムを通じた課題を設定すると同時に、活動国（地域）の特徴、受け入れ先の企業（団体）、職種・業務内容について事前に調査したことを項目立てて整理する。活動中は日々の活動内容を項目ごとにまとめること。プログラム終了後は、設定課題の達成状況（成果）、今後の課題とその具体的な克服方法（計画）、活動を通じて得られた、興味・関心についての事後調査・研究内容を整理し、活動報告書にまとめて提出し、国際学生活動支援プロジェクト担当教員の指導を受ける。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

国際学生活動支援プロジェクトにおいて、派遣先から発行される修了証、活動報告書の内容、振り返りセミナーへの参加等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

ノート型パソコン

【その他の重要事項】

研修開始前および終了後、開催地（国）以外に立寄ることは認めない。

【Outline and objectives】

During the summer vacations, selected student interns are dispatched for periods of two to four weeks to work outside of Japan. These interns work in foreign-based NPOs, NGOs, and companies on various projects to acquire first-hand practical experience and on-the-job training (OJT). The aim of this internship program is twofold. The first is to give students the opportunity to reflect on (think about) and utilize the knowledge they have gained through classroom study of international societies while experiencing working life outside of Japan directly. The second is to have students acquire the ability to consider more deeply what the future of work could mean in a world where multicultural workplaces are becoming more common.

OTR900LF

春季短期語学研修（朝鮮語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(Korean)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、朝鮮語圏の本国協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、プレイスメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。

4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend Korean intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季国際ボランティア

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：1 単位
 科目名（英語）：International Volunteer (Summer)
 曜日・時限：集中・その他
 備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、本学の協定校でベトナム最大の IT 企業である「FPT Corporation」が人材育成のために設立した FPT 大学と、ブルネイ・ダルサラーム大学（UBD: University of Brunei Darussalam）が共同で設立した「English Language Center」にて、ブルネイの留学生と共に、約 3 週間の英語教育支援活動を行う。併せて、孤児院への訪問及びワークショップの企画・運営を行う。この経験を通じて、これまでの学修で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なのかを考える能力を身に付けることを目的とする。

【到達目標】

国際ボランティアの現場に身を置き、プログラムの構造、意義、課題を体得し、国際ボランティアに対する理解を深めるとともに、実践的な課題解決力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際ボランティアへの参加に先立ち、実践的な英語力の向上に努めること、ベトナムの文化、歴史、宗教、習慣、経済状態等について理解を深めること。あわせて、各自、課題設定・事前調査を行う。出発前の危機管理説明会において、活動報告書の書き方と海外で身の安全を守る術を学んだうえで、プログラムに参加する。プログラム実施期間中、現地では最低 10 日間以上の期間、60 時間以上の学修時間を伴う活動を行う。プログラム参加後は、活動報告書の作成、および振り返りセミナーを通し、他の参加者と一緒に学んだことを振り返ることで、さらなる相互の気づきにつなげる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	課題設定・事前調査	課題設定、及び活動国（地域）の特徴、受け入れ先の団体、活動内容について事前に調査したことを項目立てて整理し、活動報告書にまとめる。
第 2 回	危機管理説明会	活動報告書の書き方指導、海外危機管理情報の提供、その他参加にあたっての諸注意事項等。
第 3～12 回	プログラムへの参加	各自、派遣先に赴任し、英語を共通言語とする国際ボランティアの現場で教育支援活動を行う（最低 10 日間以上、60 時間以上の修学時間を伴う活動）。
第 13 回	活動報告書の作成・提出	派遣先での経験や学びを振り返り、活動報告書にまとめて、提出する。
第 14 回	振り返りセミナー	学んだことを他の参加者と一緒に振り返ることで、今後の学びにつなげる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

それぞれの活動にあたり、10 時間以上の準備、5 時間以上の復習が必要である。出発前、プログラムを通じた課題を設定すると同時に、活動国（地域）の特徴、受け入れ先の団体、活動内容について事前に調査したことを項目立てて整理する。活動中は日々の活動内容を日誌としてまとめること。プログラム終了後は、目的の達成状況、活動を通じて得られた興味・関心についての事後調査・研究内容を整理し、活動報告書にまとめて提出し、国際学生活動支援プロジェクト担当教員の指導を受ける。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

国際学生活動支援プロジェクトにおいて、派遣先から発行される修了証、活動報告書の内容、振り返りセミナーへの参加等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。

【学生の意見等からの気づき】

なし

【学生が準備すべき機器他】

ノート型パソコン

【その他の重要事項】

研修開始前および終了後、開催地（国）以外に立寄ることは認めない。

【Outline and objectives】

During the summer vacations, selected student volunteers are dispatched for periods of three weeks to the “English Language Center” which was established by the University of Brunei Darussalam and FPT University. FPT University is our partner university established with the aim of cultivation of human resources by FPT Corporation, the largest IT company in Vietnam. The aim of this fieldwork volunteer program is twofold. The first is to give students the opportunity to reflect on (think about) and utilize the knowledge they have gained through classroom study of international societies while experiencing life outside of Japan. The second is to have students acquire the ability to consider more deeply what is necessary for people around the world to have for a better future.

OTR900LF

夏季短期語学研修（英語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(English)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、英語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、プレイスメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend English intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（ドイツ語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(German)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、ドイツ語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、プレテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend German intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（フランス語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(French)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、フランス語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレースメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend French intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（中国語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(Chinese)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、中国語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレースメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend Chinese intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（朝鮮語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(Korean)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、朝鮮語圏の本国協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間、2週間以上の語学と文化体験が含まれ、プレテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend Korean intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.



法政大学
HOSEI University